## 中央アルプス

## 天竜川 大田切本谷

期間:2009年9月19~20日

メンバー: L野澤、後藤、安藤、斉藤(記) 大田切本谷は正直、名前を聞いた事の無かった沢であったが、中央アルプスが興味深い山域であった為、行く事を決めた。今回は入会したばかりの安藤さんの参加も加わり、より楽しみが増え山行に臨む事となった。

9/19 前夜泊した菅ノ台バスセンターの駐車 場にて 4:30 に起床する。ここは、千畳敷に登 るロープウェー駅行きのバス乗り場駐車場と いう事もあって朝から賑やかだ。簡単な朝食 を摂りながら、身支度を整えていると既に口 ープウェー駅行きのバス乗り場は長蛇の列に なっていた。バスのお客さんを横目にタクシ ーに乗り込む。20分程乗った檜尾橋で下車す る。この行程は登り続きの為、歩きではキツ そうだ。林道を次の右カーブまで歩くと取水 口へと続く立派な仕事道と別れ、そちらに進 路を選ぶ。少し進むとカモシカに出会う。こ の道も普段は彼らの生活道なのだろう。50分 の歩きで入渓点となる取水口の上に着く。先 ずは大岩を縫うように、所々腰まで浸かりな がらの渡渉を強いられる。水温は大変冷たい。 ツルッ、ドボンだけは勘弁だと、磨かれた花 崗岩の上を慎重に歩く。少し進むと直登不能 の3m 滝が現れる。記録には左の2つの大岩 の隙間を登るとある。見ると親切にステップ 用の丸太が立て掛けられ、上からはフィック スロープまで下げられている。まずは、私が エイヤッと登るが、乗っ越しの所でザックが 引っ掛かり苦労する。ここは空身で登り荷上 げをするのが賢明だろう。滑ったゴルジュ帯 をへつりと渡渉を繰り返しながら、進むと正 面に左岸より落ちる梯子ダル沢 F1 50m が姿 を現す。スダレ状に落ちる大迫力の滝を見な がら暫し休憩する。その先小滝をいくつか越 えると明るいゴーロ帯となる。その先無



梯子ダル沢 F1

名沢が左岸より 20m の滝を掛け出合い、さ らに先では大地獄沢が右岸より 30m の滝を 掛け出合う。大地獄沢は樹林帯に邪魔されて 見えづらいが、かなりの迫力だ。遠望すると ころ、高い側壁の間を連瀑でかけ落ちる悪相、 遡行は可能なのだろうか?淡々とゴーロ帯を 歩き3箇所程のインゼルをやり過ごすと、天 幕予定地の西熊沢出合いに着いた。時計を見 るとまだ、10:30 だ。思わず出た言葉は「も っと沢山、酒を担ぎ上げればよかった。」夜ま でどうやって酒を持たせるか心配になる。近 辺は広い川原という事もあり、流木が沢山転 がっている。ならばと、キャンプファイヤー が出来そうな程の流木を集め帰って来るとテ ントを張る下の砂地を後藤さんが、まるでコ ンクリートをひいたかのような程、平に整地 しているのを見ておもわず、びっくり。「後藤 さんご苦労様でした。お陰で心地良く熟睡す る事ができました。天幕準備を済ませると他 にやる事も無いので、しょうがなく(?)明 るい内から酒盛りを始める。アルコールが入 れば後は、リーダー野澤さんの独壇場だ。



夜の楽しいひと時

9/13 朝、テン場を後にして10分も歩くと目指す稜線、木曽殿越のコルが見えて来る。「2時間もあれば登山道に出られるんじゃないの。」などと甘い考えを口にする。事前にインターネットで調べた記録だとツメを間違え、かなり時間が掛かっているが、それを、「登り過ぎちゃって失敗しているみたいだから、早めに左の尾根に取り付いちゃいましょう。」と勝手に間違った解釈をしてしまう。この時、記録通りに同じ失敗をしてしまうとは、誰も思わず、明るいゴーロ帯を快調にとばす。



明るい源頭部

下から見上げて目星を着けていた場所まで登 り、尾根に取り付く。そこからは、悪い痩せ 尾根の登攀に苦労する。最後はリッジ上の岩 場に阻まれ、少し戻り、左の谷に懸垂で下り る。そこからは、易しい草つきの斜面を 100m 程トラバースして、やっとの事で木曽殿越山 荘に到着。ここまでの時間は予想を遥かに上 回る、4 時間 15 分であった。 結果としては登 山道までの水平距離が全然足らない内に悪い 尾根に取り付いてしまった事が間違えで、も っと忠実に沢をつめて、最後の少しの所でト ラバースというのが、正解だったのだと思う。 慣れない安藤さんには、少し怖い思いをさせ てしまったが、こんなのも、沢登りの1つの スパイスと思ってくれると有り難いのだが .....。(かなり都合のいい考え?) これに懲り ずにまた、一緒に沢に行ける事を期待してい ます。宜しくお願いします。下山は空木岳山 頂を通り、そこからは、ひたすらの下りだ。



空木岳山頂

初めのうちは澄んだ青空の下、花崗岩の奇岩を眺めながら気持ちよく歩いていたが、樹林帯に入ると景色もマンネリしてきて、さすがに疲れが出てくる。もう歩くのにうんざりしながら、やっと麓のスキー場まで来ると、中央アルプス観光の方が「駐車場まで行くのでいしたら、是非、この車に乗って行って下さい。」と言ってくださり、お言葉に甘える事にした。汗くさくて、見るからに汚い私達を車に乗せてくれた中央アルプス観光の方、大変感謝しています。結局、駐車場に着いたのは

下山を開始してから6時間後の事だった。下山はちょっと辛かったが、晴天に恵まれて大変楽しい山行でした。次は大田切本谷を挟んで南北の有名ドコ、中御所谷と中田切本谷にチャレンジしてみたいと思います。

## コースタイム

9/19

菅ノ台バスセンターP 5:40~タクシーにて~5:52 檜尾橋~6:42 取水口 6:55~8:05 梯子ダル沢出合い~10:30 西熊沢出合いテン場9/20

テン場 6:30~10:45 木曽殿越山荘 11:20~ 17:20P